

原発事故から8年目ー 福島子どもたちは今…

「被ばく」から子どもたちを守る取り組み

2011年3月11日の福島第一原子力発電所の重大事故から今年で8年目です。福島は今なお、事故前より放射線量の高い除染されていない山林やホットスポットの存在は残されたままになっています。そういった環境の中で、福島子どもたちやご家族は、言い知れぬ不安と苦悩を抱え、ストレスの多い生活を強いられています。

私たちは、今年も多くの方のご支援をいただき、8月12日～16日に53人の福島の親子の4泊5日の保養を無事終了することができました。その報告会を下記の通り開催します。みなさん！ぜひご参加くださいませ。

今年の保養報告・DVD上映・スタッフ紹介

お話

「今 福島で起こっていること…



青木 美希 さん（朝日新聞社会部記者）

原発事故避難者を描いた「地図から消される街」（講談社）で貧困ジャーナリズム大賞、日本医学ジャーナリスト協会賞特別賞など受賞「言ってはいけない真実」（講談社現代新書）など多数。
青木記者は、福島原発事故に伴う被災者の現実、また現地福島の実情を取材し続け、告発している方です。

☆参加費無料

日時

2019年 **11**月**2**日(土) **13**時**30**分(開場) **14**時(開演)

会場

杉並区立 **阿佐谷中学校** 視聴覚室

(JR 阿佐谷駅南口徒歩7分 区役所の隣)

主催：福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会

<http://suginamihoyo.jimdo.com/>

(保養は杉並区・教育委員会・社会福祉協議会の後援あり) ★連絡先・090-1859-6656(東本)